



校報

水糸者

No. 1234

元年度・第93号

いよいよ、待ちに待った 修学旅行！

～今年は「釜石・平泉・仙台方面への研修の旅」となります～

6年生が楽しみにしている修学旅行が13日（日）から2泊3日の行程で行われます。

今年度の修学旅行は、新元号を記念して休日と祝日が多い年となった事と、13日に釜石で開催されるWカップラグビーの観戦チケットを『岩手県小学生復興感謝団』として、観戦できる事となったために、今年度の修学旅行は特別な日程・コースとなったものです。

6年生は事前学習にも特に熱が入っており、連日調べ学習や係の確認に励んでいます。

体育の時間にはラグビー遊びも取り入れながら、修学旅行への意欲を高めています。今日の全校朝会では『修学旅行・行って来ますの会』が、11日は結団式があり、いよいよ修学旅行への期待と楽しみが最高潮に達して来ました。

3日間の修学旅行では、教室で学んだ事を実際に見たり聞いたり、触ったりする事で広げたり深める事ができるだけでなく、『東日本大震災』の時、全世界の人々からいただいた多くの支援などに対する感謝のメッセージを全世界への人々に届ける重要な役割も担っています。今回の修学旅行での体験が今後開催される予定の『東北海洋サミット』や『海洋教育カンファレンス』を含めた『復興教育・海洋教育』にも活かされていく事となります。

また、友達や自然、文化とのふれあいを通して、絆も一層強固になる学び多き、実り多い有意義な修学旅行となるはずです。

子ども達のこれからの学校生活における学びが確実に変容していく、貴重な体験と学びが盛り沢山に詰まった、特別な年の特別な修学旅行がいよいよスタートします。

意欲が高まった 修学旅行・行って来ますの会



8日の全校朝会で、6年生から在校生に対して「行ってきます」のあいさつがありました。「たくさん学んできます。留守の間、よろしくお願いします。」と、在校生に力強くあいさつをしました。6年生不在中に、学校の「最上級生」となる、5年生の表情が一段と引き締まっていました。心を1つに何事も歩んできた6年生ですので、最高の修学旅行となる事でしょう。



6年生の修学旅行テーマは「トライ！」です。

修学旅行の様子については、リアルタイムに本校のブログに掲載していきます。ブログ掲載時や6年保護者へのご連絡がある時には、ホームページ上の「緊急告知」で、先ずお知らせします。

修学旅行のコース紹介 「釜石・平泉・仙台方面」

第1日目・10/13



③北上市の「ふるさと体験館」で、ゆっくりと休憩し、明日への英気を養います。宿は、本校の貸切となっています。



②釜石復興スタジアムでラグビーWカップ「カナダ」対「ナミビア」戦の観戦。試合の前後に横断幕を持ち、全世界に向けて感謝を伝えるイベントにも参加する予定です。



①貸切バスで、Wカップ会場の釜石へ向かいます。

第2日目・10/14



④トヨタ自動車岩手工場(金ヶ崎町)では、多くの機械とAIが自動車を組み立てていく様子を見学してきます。



⑤世界文化遺産に登録されている『中尊寺』では、奥州藤原氏が誇ったかつての栄華を偲んできます。



⑥うみの杜水族館(仙台市)では、海洋教育のヒントも求めながら、楽しむことができます。

第3日目・10/15



⑨仙台のベニーランドでは、悲鳴と歓声をあげながら楽しむ様子が目に浮かびます。



⑧東北大学では大学院の教授と大学院生さんから講義を受け、「僕も私も大学生」気分を味わう貴重な体験をしてきます。



⑦ホテルユニサイト仙台で、疲れた体と頭をゆっくり休め、最終日に備えます。



⑩仙台駅から八戸駅までは新幹線に乗車です。大きな荷物はバスが運んでくれるので、手ぶらでの乗車となります。八戸駅からは貸切バスで学校に戻って来ます。

子ども達の帰宅後の第一声は「楽しかった！」の予定

学び

Wカップラグビー観戦と東日本大震災に対する全世界に対する感謝の発信、東北大学大学院での講義体験など、貴重な体験を通して、知識を一層広め、深めていき、学びの大切さと奥深さ、楽しさに気づく事でしょう。

絆

親元を離れての、2泊3日の友との共同体験・共同生活は、友との絆をますます強くしていく他に、親のありがたさも再認識する事でしょう。